

令和6年度
自己評価報告書
(評価編)

評価対象期間 自：令和6年4月 1日
至：令和7年3月31日

評価基準日 令和7年5月 1日

令和7年5月

学校法人高橋学園
専門学校東京CPA会計学院

目次

教育重点項目(1) 「東京CPA会計学院の更なる発展」の確実な実施

教育重点項目(2) 教育力の向上

第1 教育理念・目的・育成人材像等

第2 学校運営

第3 教育活動

第4 学修成果

第5 学生支援

第6 教育環境

第7 学生の受入れ募集

第8 財務

第9 法令等の遵守

第10 社会貢献・地域貢献

第11 国際交流

教育重点項目1

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
重点1	「東京CPA会計学院のさらなる発展」の確実な実施	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

教育重点項目2

		評価項目				
		適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
重点2	教育力の向上	4	③	2	1	0

①課題

重点2：国家試験や検定試験の合格のみを目標にしている訳ではないが、合格率が想定以下になる場合があり、対策が必要となる。当校の中心的なターゲットとなっている日商簿記1級及び全経上級の実績については何とか高い合格率を誇りたい。

②今後の改善方法

重点2：学生の基礎的学力は個々人で差はあるため、理解度に応じたクラス分けの工夫を増やしている。高い合格実績を出せるように、教職員の意識を改革し、粘り強い指導を行う。近年では、メンタル面での問題を抱える学生も増えているため、その面でのサポートも適切に行っていく。

③特記事項

第1 教育理念・目的・育成人材像等

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
01	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1	0
02	学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1	0
03	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1	0
04	学校の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1	0
05	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

第2 学校運営

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
06	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1	0
07	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1	0
08	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	④	3	2	1	0
09	人事、給与に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1	0
10	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1	0
11	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1	0
12	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1	0
13	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1	0

①課題

11：業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制について特に組織や委員会などを設けていない。

②今後の改善方法

11：組織や委員会の設置を検討してきたものの、依然として具体的な体制について明確化するのが困難な状況であるため、引き続き検討していく。なお、労働管理については、労働基準監督署の指導・助言を得て、就労規則などの適切な改正を行った。

③特記事項

第3 教育活動

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
14	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1	0
15	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1	0
16	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1	0
17	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1	0
18	関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行なわれているか	4	③	2	1	0
19	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1	0
20	授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1	0
21	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1	0
22	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	0
23	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1	0
24	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1	0
25	関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行なわれているか	④	3	2	1	0
26	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行なわれているか	4	③	2	1	0
27	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1	0

①課題

17：これまでと同様に、基本的には、難関な国家資格や資格検定を目指すことによって、必然的にキャリア教育・実戦的な職業教育の視点に立っていると考えているが、資格試験や検定試験では測れない実践的スキル内容について研究が不足している。

18：同上

19：会計関連業界の状況を踏まえると、現時点ではインターンシップの必要性を感じていない。会計事務所等の取り組みを調査し、実施の可能性について検討したい。

26：関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修は、自己研修となり、明確に研修会という形で実施されていない。

27：公益財団法人東京都私学財団の主催する各種研修会等を利用しているが、利用の頻度が年毎にまちまちである。

②今後の改善方法

17：できるかぎり実務経験者の意見を収集し、それを踏まえながら、より実践的な視点での教育の要素を探求し、カリキュラムや指導方法の見直しを行うこととする。

18：同上

19：会計事務所等の取り組みを調査し、実施の可能性について検討したい。

26：各教員の専門分野に対する理解は際立っているものの、先端的な知識・技能等の認識については弱い。科目ごとに可能な研修会の実施を模索する。

27：各教職員の公益財団法人東京都私学財団の主催する各種研修会等の利用状況を集計して、必要な研修会にはできるかぎり恒常的に活用・参加する。

③特記事項

第4 学修成果

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
28	就職率の向上が図られているか	④	3	2	1	0
29	資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1	0
30	退学率の低減が図られているか	4	③	2	1	0
31	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1	0
32	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1	0

①課題

- 30 退学率の低減に努めるため、成績の伸び悩みや学校生活で悩みを抱える学生の早期把握に努めなければならない。
- 32 採用側の企業のニーズ調査や卒業生からのヒアリングが網羅的とは言えない。

②今後の改善方法

- 30 個人面談のタイミングを調整していく。学生の通学姿勢に変化が見られた時には、講師たちで情報共有していくようにする。特に、メンタル面での問題を抱える学生に対して、適切な対応を心がけるように教職員の意識改革を行う。
- 32 業界説明会を開催する際に、採用側の担当者とのコミュニケーションを図り、ニーズを把握していくこととする。卒業生に関しては、直近の卒業生からでもヒアリングを行う。イベント以外でも、適宜、使用側企業とのコミュニケーションを増やしていく。

③特記事項

第5 学生支援

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
33	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
34	学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1	0
35	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
36	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1	0
37	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1	0
38	学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1	0
39	保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1	0
40	卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1	0
41	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1	0
42	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行なわれているか	4	③	2	1	0
43	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか	4	3	2	1	①

①課題

- 36 学生の健康管理を担う特別の組織体制が設けられていない。
- 40 卒業生への支援サービスの認知度が低い。
- 42 高校等との連携によるキャリア教育・職業教育について、正式な形での連携ができていない。

②今後の改善方法

- 36 学生の健康管理に起因する問題について分析し、学生の健康管理を担う特別の組織体制の可否を検討していく。特にメンタル面でのケアを充実させる。
- 40 Webサイト中で卒業生の情報を扱う「校友会」欄の情報を更に充実させる。
- 42 正式な形での連携は難しいが、出張講座の開催を交渉している。商業系分野

の高等学校を中心として関係強化を図る。

③特記事項

第6 教育環境

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
44	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1	0
45	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1	①
46	防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1	0

①課題

46 防災に対する備えをしているが、最新の情報に更新されていない。

②今後の改善方法

46 自治体の公表する災害ハザードマップを入手・把握し、教職員・学生に対して、最新の防災情報を提供する。施設管理業者からの助言を参考にする。

③特記事項

第7 学生の受入れ募集

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
47	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	4	③	2	1	0
48	学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1	0
49	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4	③	2	1	0
50	学生納付金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

第8 財務

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
51	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1	0
52	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1	0
53	財務について会計監査が適正におこなわれているか	3	③	2	1	0
54	財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1	0

①課題

51：学生募集の状況は少子化の進行を受けて、中長期的に厳しいものがあるが、資金的には差し迫った状況ではない。

②今後の改善方法

51：東京校は大規模修繕工事を実施したが、財政的に特に問題は発生していない。財政基盤の強化は急務ではないが、できるかぎり学生募集に力を入れ、学校の安定経営に必要な財務基盤の獲得を図っていく。特に、高等課程の生徒募集に注力していきたい。

③特記事項

第9 法令等の遵守

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
55	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1	0
56	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1	0
57	自己評価の実施と問題点の改善を行なっているか	4	③	2	1	0
58	自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1	0

①課題

55：私立学校法の改正に適切に対応できるか。

56：ネットワークの不正アクセスに関しては、不正の手法が日々刻々と変わっていくが、臨機応変に対応することについて、継続的な課題と認識している。

②今後の改善方法

55：関係機関からの資料を得て、各種説明会・研修会に参加し、適切に対応していく。

56：専門業者からの情報等を入手し、費用対効果を検討しつつ、必要な対策を随時導入していく。

③特記事項

第10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		4	3	2	1	0
59	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1	0
60	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	②	1	0
61	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1	0

①課題

60 学業を重視するあまり、学生のボランティア活動をなかなか奨励できていない。

61 本校主催の地域に対する公開講座等を行っていない。

②今後の改善方法

60 地域のイベントなどにおいて、学生のボランティア活動の奨励を図っていきたい。

61 職業団体や地域の方のニーズを聴取し、本校主催の講習会の実施を検討していく。

③特記事項

第 1 1 国際交流

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
62	留学生の受入れ・派遣について戦略を持っているか	4	③	2	1	0
63	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	③	2	1	0
64	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整理されているか	4	③	2	1	0
65	学習成果が国内外で評価される取組を行なっているか	4	3	2	1	①

①課題

62：留学生の受入れについて、学校としての戦略を持っていない。

②今後の改善方法

62：来年度に留学生の受入れがあるので、これからどのような戦略を持つべきなのか、具体的な計画を策定していきたい。

③特記事項

以上